



平成27年度  
但馬産業大賞

平成28年3月



審査委員会／平成28年2月24日(水)

表彰式／平成28年3月18日(金)





但馬県民局長  
岩根 正

## ごあいさつ

---

但馬は、豊かな自然や歴史・風土をもとに、高度な伝統技術や先端技術を持つ地域産業、人々に憩いと安らぎを与える観光産業、自然の恵みを大切にした農林水産業などを育み、同時にそれぞれの産業が地域の発展を支えてきました。

そして、今年も、卓越した技術力や斬新なアイデア等を持ち、広くご活躍され、但馬の産業活力と地域発展の原動力となっておられる事業者の皆様が「但馬産業大賞」を受賞されますことを心からお慶び申し上げます。受賞されました皆様の技術や技能、新サービスは、今後の但馬が迎える新たな展開に不可欠のものと堅く信じております。

但馬地域では、若者の流出による人口の減少や地域経済の活性化など、解決に向けて取り組むべき課題を多く抱えています。一方で、ユネスコの正式プログラムに認められた山陰海岸ジオパーク、国内外から多くの観光客が訪れている城崎温泉や湯村温泉、数多くのメディアで紹介されている竹田城跡、更には養父市国家戦略特区で新たな農業の取組が進むなど、地域の未来を照らす話題も増えつつあります。これらを踏まえ「夢但馬2014」で力強く芽生えた「地域主体で地域づくりに取り組む」気運を活かしながら、但馬の個性を伸ばし、住民主役による様々な活動を盛り上げ「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生を推進します。受賞されました皆様にも、事業活動などを通じ、こうした夢のある地域づくりにさらなるご助力をいただければ幸いです。

結びに、受賞されました皆様が、今後ますますご発展、ご活躍されると同時に、但馬の産業の活性化や地域の交流をさらに力強く牽引していただくことを心より祈念いたします。



審査委員長  
**内田 仁**  
(兵庫県立但馬技術大学校長)

## 講 評

但馬地域には、高い技術力を有する製造業、豊岡かばんなどの地場産業に加え、豊かな自然環境と豊富な観光資源を生かした多くの産業が存在します。本年度も関係団体からご推薦をいただいた事業者について、7名の審査委員が、技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。その結果、平成27年度但馬産業大賞は4部門で6社が受賞されることになりました。

まず「キラリと世界に輝く技術部門」ですが、新生化学工業株式会社豊岡事業部は、非常に信頼性の高いシール技術はもちろん、材料や製造条件など各種ノウハウのデータベース化や射出成形技能士のみが生産に関わる体制で、高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の安定供給に成功しています。

此の友酒造株式会社は、元禄3年より300年以上受け継がれてきた伝統的な醸造技術により、全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞されたとともに、通年醸造を可能にして若い但馬杜氏の育成・雇用にも貢献しています。

次に「自然と共生する環境創造事業部門」ですが、コウノトリ育むお米生産部会は、今や国外にも名を馳せるコウノトリ野生復帰の取り組みにおいて、環境創造はもとより観光など様々な分野で地場産業の発展に大きく貢献しているほか、農産物のブランド化に成功し、環境と経済が両立しうる事例として非常に高く評価されます。

次に「観光・交流資源を生かしたツーリズム部門」ですが、株式会社湯村温泉愛宕山観光は、地域と一体となり、四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致など交流人口拡大に取り組んでいるほか、国から認定を受けたインバウンド事業など積極的な取り組みで今後の更なる成長が期待できます。

株式会社Mother Earthは、夏季と冬季がメインであった地域に春・秋でも可能なカヌーやSUP(スタンドアップパドルボード)などの体験型メニューをいち早く導入し、利用者を大きく伸ばしています。今後、近隣観光地との更なる連携や宿泊施設の整備による長期滞在の促進などの展開が期待できます。

最後に「新分野にチャレンジする経営革新部門」ですが、八鹿鉄工株式会社は、農機具製造業がトマトを栽培するという意外性、農業に製造業で培った品質管理技術など様々なノウハウを導入し、実際に素晴らしい品質のトマトを供給していることは言うまでもなく、地域雇用やカーボンオフセットクレジットの購入など環境対策への取り組みも大きく評価されます。

以上、受賞内容を簡単に紹介させていただきましたが、但馬地域には大変素晴らしい企業や団体があることを改めて実感いたしました。受賞者の皆さまが、この受賞を契機にますます研鑽を重ね、更なる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。

## 但馬産業大賞受賞者名簿

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名

新生化学工業株式会社  
豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

### 区分 自然と共生する環境創造事業部門

受賞者名

コウノトリ育むお米  
生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立しうる事例として国内外に広く発信

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名

株式会社 湯村温泉  
愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、SUPボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

受賞者名

八鹿鉄工株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

## 但馬産業大賞審査委員会委員名簿

兵庫県立但馬技術大学校	大学校長	内田 仁 (委員長)
兵庫県立工業技術センター	次長	北川 洋一 (副委員長)
(公財)ひょうご産業活性化センター	常務理事	角 正憲
(公社)ひょうごツーリズム協会	専務理事	松森 章子
兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター	所長	野田 昌伸
(公財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長	間 為展
兵庫県但馬県民局	県民局長	岩根 正



## 新生化学工業株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

数多くの大手企業から信頼される同社の精密プラスチック製品は、車載、医療、電池、電子部品、光学から家庭用品まで多岐に渡る。

特に、全国で使用されているガスコンセント継手や血液検査用部品などに代表されるシール技術（気体・液体等の漏洩防止）は優秀であり、そのほとんどが豊岡事業部で製造されている。

製造工程をオートメーション化することで一般他社と比較し30%高い稼働率（24時間連続稼働）を誇り、産業用ロボットの配置・調整を全て自社独自のノウハウで行うことで、効率化・省人化を図り、コスト削減を実現しているほか、国家資格である射出成形技能士のみが生産に関わる体制と、ノウハウをデータベース化したノウハウバンクの活用により高い顧客要求にも対応する技術力が、高品質かつ高い歩留まりを実現している。

平成26年には異材質を組み合わせ一体に成形する二色成形品の製造を開始し、シール技術と多種材料を扱ってきたノウハウで高品質な製品を生産し徐々に受注量を伸ばしている。

他社では大量生産が難しい耐熱性樹脂を材料とした部品の製造にも成功し安定生産を可能にするなど、その技術力は大手企業を中心に注目されている。



CR成形工場



一般成形工場



工場全景



光学部品



医療部品



ガス部品



電池部品



車載部品



2材質部品

### 会社沿革

新生化学工業株式会社は1963年にエアゾール用バルブの開発に成功以来、エンジニアプラスチックの発展と共に、成長を遂げてきました。現在も弊社の樹脂加工技術、生産設備開発技術、そして精密金型加工技術が電池業界、電子部品業界、そして医療機器分野にて、仕事や商品という形で役立てられています。「一歩先の哲学」、「魅力ある企業作り」が新生化学工業の躍進の原動力になっています。

### 会社住所

兵庫県豊岡市神美台157-37  
TEL 0796-29-5551  
FAX 0796-26-0733  
E-mail : hama@shinsei-shiga.co.jp  
HP : <http://www.shinsei-shiga.co.jp>



## 此の友酒造株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

同社は、元禄3年の創業以来、手作り一筋三百余年、厳選して磨いた酒米、但馬と丹波の境にそびえる粟鹿山から流れ出る酒造りに適した清冽な地下水、脈々と受け継がれる伝統の技を以って、地域に根ざした酒造りを行ってきた。昔ながらの手作りにこだわったその日本酒は、全国新酒鑑評会で2年連続の金賞を受賞、その高い品質と優れた醸造技術を証明した。

但馬に冬の気配が近づく11月に始まる酒造りの中でも、「麴が酒の味を決める」というほどこだわりを持ち、厳しい但馬の冬の夜、幼子を育てるように何度も目を覚まし見守り続け作られる麴は、その全てが自社の手作りである。また、その技術そのままに通常1年に1回の醸造を通年行うことのできる施設を整備し、常にフレッシュな日本酒提供を可能にしたほか、日本酒に馴染みのなかった女性や外国人に喜ばれる商品、焼酎やリキュールなどジャンルに囚われない商品開発なども積極的に進めている。

日本四大杜氏の一つ但馬杜氏の技術継承のため、若くから全ての行程を経験させ育成した杜氏は40歳代とまだ若いにもかかわらず、鑑評会で認められた美酒を醸すその伝統の技と知恵は、担い手不足により失われつつある但馬杜氏の新たな光である。



外観



酒蔵スタッフ



杉玉



仕込み作業



商品



仕込み蔵

### 会社沿革

元禄3年(1690)	朝来市山東町に創業
大正8年11月24日	合名会社 加古屋酒店
大正8年11月29日付	株式会社加古屋酒店
昭和63年11月7日	此の友酒造株式会社
平成15年7月2日付	リキュール類条件解除により全リキュール製造免許取得
平成16年4月15日付	焼酎乙類(天のひぼこ)製造免許取得
平成18年~27年	大阪国税局燗酒鑑評会優秀賞9回連続受賞(21年を除く)
平成26年・27年	全国新酒鑑評会金賞受賞

### 会社住所

兵庫県朝来市山東町矢名瀬町508  
TEL 079-676-3035  
FAX 079-676-3045  
E-mail: info@konotomo.jp  
HP: http://www.konotomo.jp

## コウノトリ育むお米生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立しうる事例として国内外に広く発信

コウノトリ野生復帰を契機に、コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培へ取り組む「コウノトリ育む農法」。コウノトリ育むお米生産部会は、コウノトリの餌場となる田んぼの環境負荷を低減し、生きものを育む栽培管理を徹底するこの農法を推進するため設立された。

この農法は、水稻の生育にとって過酷な条件での栽培であり、技術面でも多くの困難があったが、試験研究機関や行政などと連携したマニュアル化、安全・安心な農作物としてのブランド化に成功したことで、反当りの所得を大きく向上させ、平成15年0.7haの栽培面積から平成26年には451haへと大きくその取組を広げた。

全国的に見ても、統一した無農薬栽培方法でまとまった生産量を確保できるのは同会だけである。そのため、平成27年「食」をテーマとして開催されたミラノ国際博覧会の日本館では、コウノトリ育むお米が博覧会開催期間中、会場内の日本食フードコート全店で使用されるなど、海外にも知られる取組となっており、環境と経済が両立しうる事例として評価されている。

栽培履歴で報告することとしている生きもの調査の結果、近年、見る頻度が少なくなっていた生きものが多く確認されており、次代への安全な環境を引き継ぐ使命感などが醸成され、但馬地域での更なる環境保全意識の高まりが期待される。



抑草効果を高める代掻き作業現地研修会



消費者、実需者、生産者、関係機関を交えた田植え体験交流会



地元小学校と連携したコウノトリ育むお米栽培ほ場での環境学習会



コウノトリ育むお米生産者大会



品質向上栽培技術研修

### 沿革

コウノトリ野生復帰を契機に、コウノトリとの共生を目標に豊岡市内で始まった取り組みを、但馬地域全体に普及し安心して安全な水稻生産と生きもの育む環境創造型農業の推進を目指し設立を進めた。

設立以来、地域における環境学習への支援、コウノトリ育むお米のファン獲得に向けた水稻栽培体験交流、生きもの調査交流、関係機関と連携した販売PR等を積極的に行っている。

### 住所（事務局）

養父市八鹿町朝倉1141  
TEL 079-662-4145（JAたじま営農生産部 代表）  
FAX 079-662-2304（JAたじま営農生産部）



## 株式会社 湯村温泉愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

平成6年、兵庫県立但馬牧場公園設立と同時に牧場公園を拠点にスキー場、宿泊施設、レストランを経営してきた社は、レジャー・旅行ニーズの多様化やスキー人口が減少する中、徹底的なコストカットや但馬牛など地元食材を可能な限り使用した地産地消、四季の地域観光情報発信などに取り組んできた。

平成25年、これまで夏季の利用が少なかった同公園の芝生広場に目を付け、新温泉町では受入のなかったスポーツ少年団の合宿誘致を開始した。この際、2019年にワールドカップの日本開催が決定していたラグビーにいち早く注目し、ラグビースクールの誘致に成功、平成27年には3県から6組が参加するラグビー交流会を開催するまでに至った。これにより、合宿で宿泊施設が利用される以外にも、参加者保護者や関係者が湯村温泉を中心とした町内で宿泊、観光を行うなど大きな波及効果を産み出した。また、同公園に咲き誇る花の蜜源に注目し、養蜂を開始、「牧場公園はちみつ」のオリジナルブランド商品の販売を開始するなど豊かな自然環境を生かした取組を積極的に進めている。

平成26年には雪のない国を中心に行うインバウンド対策が国の地域産業資源活用事業の認定を受け、雪遊びやウインタースポーツなどの自然、但馬牛や松葉ガニなどの食と湯村温泉をパッケージングした商品販売などを開始し、地域への更なる波及効果が期待される。



まきばの宿



レストラン



### 会社沿革

- 昭和47年7月29日：会社設立
- 昭和47年12月1日：スキー場運営
- 平成6年10月1日：レストラン「ふるさと」設立
- 平成9年12月19日：宿泊業「まきばの宿」設立
- 平成26年6月18日：農林水産業への本格参入

### 会社住所

美方郡新温泉町丹土1033  
 TEL 0796-92-1005  
 FAX 0796-92-1006  
 E-mail : mail@bokujo.com  
 HP : http://www.bokujo.com/



## 株式会社 Mother Earth (海の家メリ)

カヌー、サップボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

豊岡市竹野町にある山陰海岸ジオパークの主要ジオサイトで県指定文化財でもある「はさかり岩」と「淀の洞門」にはさまれた切浜海水浴場。その豊かな観光資源を活用し、海の家やBBQなど様々なサービスを行ってきた同社は、平成24年、地域の宿泊者の増加を図るため山陰海岸ジオパーク竹野エリアをシーカヤックで巡る「ジオカヌー」にいち早く取り組んだ。竹野地区では、夏季の海水浴と冬期のカニが主な観光シーズンであり、春、秋に観光の目玉がない状況であったが、4月から10月まで営業可能なこの取組は、同社の積極的なPR活動によりTVを始めとする様々なメディアで取り上げられたほか、インストラクターのガイド力で記憶に残る体験になるという評判もあり、通年型の観光地として誘客促進を果たした。平成27年に法人化、更なる受入体制を整備するとともに、但馬地域では初めてとなるSUP(スタンドアップパドルボード)の導入、平成28年4月にはお宿「海の音」をオープンするなど、今後も竹野ツーリズムの泊・遊・食による観光誘客に期待がかかる。



G-SUP



清瀧洞門内



メリの中でBBQ



夕焼けカヌー

### 会社沿革

平成18年 7月 海の家メリ創業  
 平成24年 6月 ジオカヌー事業開始  
 平成25年 7月 兵庫県経営革新計画承認  
 平成26年 5月 クリアボトムカヌー新登場  
 平成27年 5月 株式会社Mother Earth設立  
 平成28年 3月 モンベルフレンドショップ登録  
 平成28年 3月 豊岡市環境経済事業認定(内定)  
 平成28年 4月 新規事業 お宿 海の音～うみのね～OPEN

### 会社住所

兵庫県豊岡市竹野町切濱1048番地  
 TEL 0796-20-4047  
 FAX 0796-20-4047  
 E-mail: meri@t-motherearth.com  
 HP: <http://www.t-motherearth.com/>



## 八鹿鉄工株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

農業用機械製造業として昭和16年に創業した同社は、地域に根付いて農業機械を中心に製品開発・生産を行ってきた。農業と共に歩んできた企業として、高齢化や後継者不足という大きな農業の課題解決のため、新しい農業の価値を創造する必要があると考え、平成25年、アグリ事業部を立ち上げた。

同社が目をつけた医療用の特殊フィルムを使用した「アイメック農法」によるトマトのハウス栽培は、兵庫県では初の試みであり但馬地域特有の気象条件に対応した生産管理体制の構築には多くの困難が伴った。しかし、製造業で培った生産技術、品質管理などあらゆるノウハウを駆使するとともに栽培のデータを蓄積することで、自社独自の生産管理体制を構築し、糖度が高く高栄養化のトマト栽培を実現した。また、冬期のボイラー燃料は市内産間伐材を使用しているほか、オフセットクレジットの購入や雇用創出など地域にも大きく貢献している。生産されたトマトは通常のトマトと比較し糖度が2倍、血液をさらさらにすると言われるリコピンも2倍以上含まれていることや農機具製造会社が栽培したトマトという話題性もあり、様々なメディアでも取り上げられ品薄状態が続いており、今後も更なる生産拡大が期待される。



会社外観



アグリ事業部



糖度測定



梱包作業



赤オニくん

### 会社沿革

- 昭和16年：設立
- 昭和23年：八鉄式わら切機を考案
- 昭和44年：コンバイン用カッター開発
- 昭和57年：小型除雪機を開発
- 平成18年：オニオンピッカーを開発
- 平成25年：あさくら彩園を発足、トマト栽培を開始

### 会社住所

兵庫県養父市八鹿町朝倉200  
 TEL 079-662-7111  
 FAX 079-662-7118  
 E-mail : terada-masayuki@youka-t.co.jp  
 HP : <http://yoka-tekko.com/>

# 歴代の受賞者

## 平成19年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 ビトールアンドディー

レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

#### マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

#### 中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

### 区分 人と自然の共生する事業部門

#### 有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 但東町花卉球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

#### 農家民宿「八平だるま」 能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

#### たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

#### 浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

## 平成20年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

#### 但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

#### 株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

#### 株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

#### 吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

### 区分 人と自然の共生する事業部門

#### 有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

#### 神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

#### 但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

#### 香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

#### 湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

## 平成21年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

#### 株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

#### 香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生酛・山廃酛)にこだわり世界に通用する味を追求

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### NPO法人 八チ高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

#### 香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

#### 生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

## 平成22年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 美岡工業 株式会社

大型・小型・精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

#### 株式会社 オーシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

#### 和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし「ゆめば」の導入

#### 和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

## 平成23年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

#### 株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャндаイジングを展開

#### 大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農工商連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

## 平成24年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 多田スミス

鑄造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鑄造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組む但馬地域で、6次産業を観光に生かし地域資源と一体となった観光誘客を推進

#### 全但バス株式会社 やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

#### 株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

## 平成25年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 東海バネ工業 株式会社（豊岡神美台工場）

熟練職人の作り込みを再現した熱間コイルングマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種微量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方「見る・食べる・学ぶ」を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

#### 明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 株式会社 コンゴープロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない！「サブリメイトボード」の開発

#### カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源（どぶろく）を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶロック」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

## 平成26年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震ブレースX」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

#### 有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 株式会社 グリーンウィンド 道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

#### 株式会社 サン・ウォーター

兵庫県の最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進



兵庫県但馬県民局  
地域政策室 地域づくり課

〒668-0013 兵庫県豊岡市中陰376-14 仮設中陰卸団地庁舎 TEL 0796-26-3685

27但馬@2-011A4